

—平成 31 年度岡山市市民協働推進モデル事業—
「学ぶことは生きること」義務教育学び直しサポート事業

夜間中学に関するニーズ調査 報告書

調査主体： 一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会
協働課： 岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課
岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課

夜間中学に関するニーズ調査 報告書
—平成 31 年度岡山市市民協働推進モデル事業—

目 次

—本 編—

1. はじめに	3
2. 調査の概要	4
3. アンケート調査結果	5
4. アンケート調査のまとめ	12
5. ヒアリング調査結果	13
6. ヒアリング調査のまとめ	25
7. おわりに	27

—資料編—

1. アンケート調査用紙	28
2. 外国語版調査用紙（抜粋）	29
3. ヒアリング調査用紙	32

監修：岡田 敏之（京都教育大学 教職キャリア高度化センター 教授）
関本 保孝（基礎教育保障学会事務局長）

1. はじめに

夜間中学に関するニーズ調査は、平成 31 年度岡山市市民協働推進モデル事業「『学ぶことは生きること』義務教育学び直しサポート事業」の一環として、一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会と岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課・岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課が協働により実施したものです。

本調査において重視している「学び直し」とは、特に義務教育について、なんらかの事情で満足に教育を受けられなかった、もしくは十分に教育内容を習得することができなかった人々が、義務教育の内容を習得することを指します。こうした学び直しを支える場としては、市町村が設置する中学校において夜の時間帯に授業が行われる公立中学校の夜間学級（以下、夜間中学）があります。ほかにも、市民団体が運営する自主夜間中学校や公民館などで開催される講座、フリースクールや塾など官民とも多岐にわたるものが考えられます。

近年、学び直しの場として夜間中学が注目されています。この背景には、平成 28 年の義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律の成立がありました。戦後の混乱期における貧困等の問題、復興過程での在日外国人・残留孤児の問題、近年における不登校児童生徒の増加や渡日外国人の増加などを背景に、義務教育を満足に受けられなかった人々に義務教育の機会を保障することがねらいです。

これまでに行われた岡山県内での夜間中学に関するニーズ調査は、平成 28 年度に岡山県が、「岡山県における中学校夜間学級に関する調査研究」の一環として行ったものがあります。この調査では、「中学校夜間学級に通学し、義務教育段階の内容を学習したいというニーズは 5 件という結果であり、現時点で、直ちに中学校夜間学級を設置する状況にはない。」としました。

その後 3 年が経過し、一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会が運営する「岡山自主夜間中学校」事業への参加登録者が 180 人を超えるなど、学び直しに対するニーズが顕在化してきました。そこで、岡山市では、学び直しをしたい層への働きかけを重視するなかで、どのような人がどれくらいいて、どのような内容の学び直しを求めているかを明らかにすることで、より多くの人々が各人のニーズに沿った学び直しの機会を得られることを目指すべく、一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会と岡山市教育委員会の協働により本調査を実施しました。

－本報告書における定義－

- 夜間中学 夜間その他特別な時間において授業を行う公立中学校の夜間学級
- 岡山自主夜間中学校 一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会が運営している自主夜間中学校

2. 調査の概要

○目的

本調査は、平成31年度岡山市市民協働推進モデル事業として、一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会と岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課・岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課との協働により実施した、夜間中学に関するニーズ調査です。本調査では、夜間中学での学び直しのニーズをもつ人の声から「どんな人が」「どんな学び直しを求めているか」を明らかにし、「どんな体制が必要か」今後の学び直しの場のあり方を検討するための基礎資料とすることを目指しました。

○方法

夜間中学での学び直しのニーズを明らかにするために、以下の2種類の調査を実施しました。アンケート調査は、学び直しのニーズの内容を全体的に把握するために、ヒアリング調査は、学び直しのニーズの具体的な内容をより深く把握するために実施しました。

①アンケート調査

選択式回答を中心とした返信はがき付き調査用紙を、岡山市内各所に配布しました。調査の周知のため、協力の得られた各所にポスター設置も行いました。

岡山市教育委員会からは、公民館、図書館、福祉交流プラザ、福祉事務所、ふれあいセンター等の公共施設に計3,650枚、岡山に夜間中学校をつくる会からは、スーパーマーケット等の店舗、病院、薬局、フリースクール、識字教室、国際交流センター、工業団地事務所棟等に計10,429枚、あわせて14,079枚を配布しました。

②ヒアリング調査

アンケート調査の回答者のうち合意を得られた人を対象に、約30分間の対面もしくは電話によるヒアリング調査を実施しました。

○実施期間

- ①アンケート調査 令和元年6月8日から8月31日
- ②ヒアリング調査 令和元年7月13日から10月31日

○回答数

- ①アンケート調査 810通（うち岡山自主夜間中学校通学者47名、外国人18名）
回収率5.8%
- ②ヒアリング調査 51名（うち岡山自主夜間中学校通学者41名、外国人4名）

○質問内容

- ①アンケート調査 （資料編参照 外国語版も含む）
- ②ヒアリング調査 （資料編参照）

3. アンケート調査結果 (n は回答があったはがきの枚数)

質問1 夜間中学のことを知らせたいと思う人があなたのまわりにいますか。

または、あなたは夜間中学で学んでみたいと思いますか。(複数回答可) [n=810]

1. 身近にいる	103	12.7%
2. 思いつく人がいる／場所(団体、職場など)がある (具体的に)	100	12.3%
3. 自分が学んでみたい	143	17.7%
4. まわりにもいないし、自分も学びたいとは思わない	478	59.0%
無回答	34	4.2%
計	858	

～「思いつく人／場所」の具体記述～

(人) 家族・親戚・友人・知人・知り合いの子ども・教え子・不登校生徒・同じ職場の人・外国人労働者
(場所) 身内や親戚の家・住んでいる地域・同じ職場・営業先の職場・日本語講座・福祉団体・支援団体

「自分が学んでみたい」が143人で17.7%、「身近にいる」が103人で12.7%、「思いつく人がいる／場所がある」が100人で12.3%であった。

質問2 その人に知らせたい、またはあなたが学びたい理由を教えてください。

(複数回答可)

[n=307]

1. 中学校を卒業していないから	32	10.4%
2. 卒業したが、学び直したい／学び直してほしいから	198	64.5%
3. 外国人で、知識や技能を学びたい／学んでほしいから	78	25.4%
無回答	61	19.9%
計	369	

「卒業したが、学び直したい」が198人で64.5%、「外国人で、知識や技能を学びたい」が78人で25.4%、「中学校を卒業していないから」が32人で10.4%であった。

※質問1で「自分が学んでみたい」と答えた人の質問2「学びたい理由」(複数回答可)

[n=143]

1. 中学校を卒業していないから	6	4.2%
2. 卒業したが、学び直したい／学び直してほしいから	113	79.0%
3. 外国人で、知識や技能を学びたい／学んでほしいから	18	12.6%
無回答	11	7.7%
計	148	

「自分が学んでみたい」と答えた人の「学びたい理由」は、「卒業したが学び直したい」が最も多く113人で79.0%、次に「外国人で、知識や技能を学びたい」が18人で12.6%、「中学校を卒業していないから」が6人で4.2%の順であった。

質問3 その人(たち)とあなたの関係を教えてください。(複数回答可) [n=307]

1. 本人	104	33.9%
2. 家族・親族(具体的に)	27	8.8%
3. 友人・知人	108	35.2%
4. その他(具体的に)	54	17.6%
無回答	73	23.8%
計	366	

～「家族・親族」、「その他」の具体記述～
 (家族・親族) 親・子ども・兄弟姉妹・甥・姪
 (その他) 卒業生・福祉施設利用者・支援対象者・職場関係者・営業先の従業員・外国人労働者・留学生

その人(たち)とあなた(回答者)との関係は、「友人・知人」が108人で35.2%、「本人」が104人で33.9%、「その他」が54人で17.6%であった。

質問4 学びたい人／学んでほしい人のことを教えてください。(複数回答あり)

○年齢について [n=307]

10代	55	17.9%
20代	59	19.2%
30代	58	18.9%
40代	50	16.3%
50代	45	14.7%
60才以上	80	26.1%
無回答	43	14.0%
計	390	

○お住まいについて [n=307]

岡山市	197	64.2%
岡山市以外の岡山県内	46	15.0%
県外	3	1.0%
無回答	97	31.6%
計	343	

○性別について [n=307]

男性	124	40.4%
女性	146	47.6%
無回答	94	30.6%
計	364	

学びたい人／学んでほしい人の年齢は、「60才以上」が26.1%であるほかは、「20代」から「50代」まで均等であることが分かった。学びたい人／学んでほしい人のお住まいの市町村は、「岡山市」が最も多く197人であった。

※質問1で「自分が学んでみたい」と答えた人の質問4の回答（複数回答あり）

○年齢について [n=143]

10代	17	11.9%
20代	13	9.1%
30代	18	12.6%
40代	24	16.8%
50代	26	18.2%
60才以上	42	29.4%
無回答	17	11.9%
計	157	

○お住まいについて [n=143]

岡山市	88	61.5%
岡山市以外の 岡山県内	16	11.2%
県外	1	0.7%
無回答	40	28.0%
計	145	

○性別について [n=143]

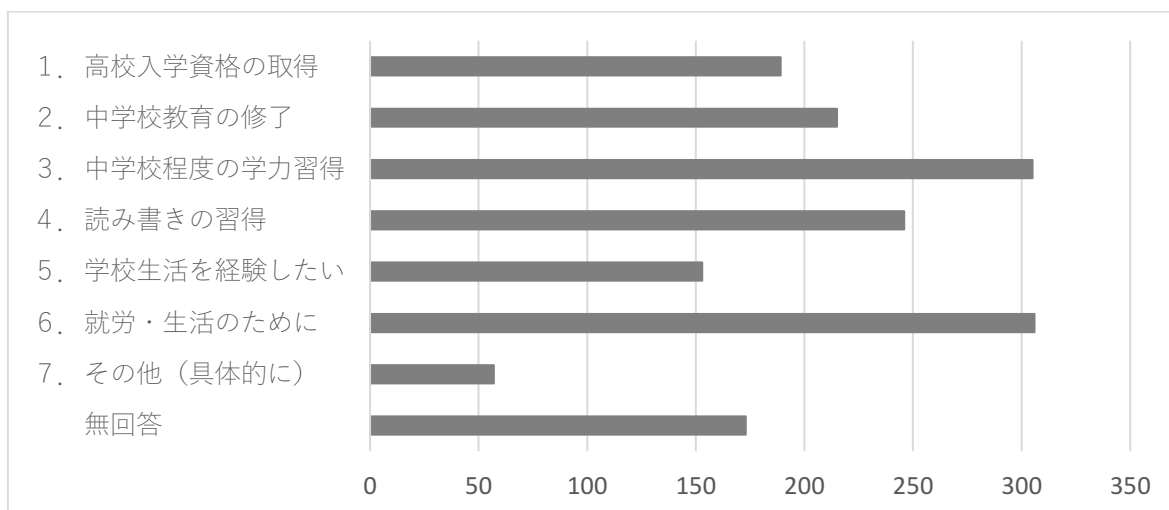
男性	45	31.5%
女性	64	44.8%
無回答	39	27.3%
計	148	

「自分が学んでみたい」と答えた人の年齢は、「60才以上」が最も多く42人で29.4%であった。「50代」が26人で18.2%、「40代」が24人で16.8%の順であった。「自分が学んでみたい」と答えた人のお住まいは「岡山市」が最も多く88人であった。

質問5 あなたが、夜間中学に期待することは何ですか。(複数回答可) [n=810]

1. 高校入学資格の取得	189	23.3%
2. 中学校教育の修了	215	26.5%
3. 中学校程度の学力習得	305	37.7%
4. 読み書きの習得	246	30.4%
5. 学校生活を経験したい	153	18.9%
6. 就労・生活のため	306	37.8%
7. その他(具体的に)	57	7.0%
無回答	173	21.4%
計	1644	

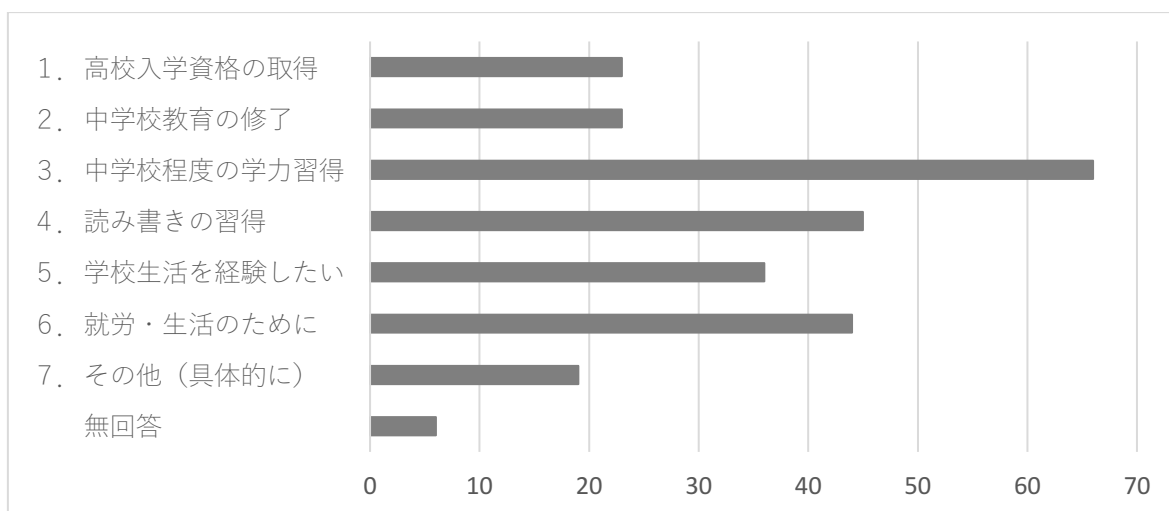
～「その他」の具体記述～
 人生を通して知識の習得・人生に自信をもつ・コミュニケーション作り・仲間、友達作り・居場所・大学進学・英語・日本語や日本文化の体験



夜間中学に期待することは、「就労・生活のため」が306人で37.8%、「中学校程度の学力習得」が305人で37.7%と多かった。次いで「読み書きの習得」が246人で30.4%、「中学校教育の修了」が215人で26.5%、「高校入学資格の取得」が189人で23.3%であった。

※質問1で「自分が学んでみたい」と答えた人の質問5の回答（複数回答可） [n=143]

1. 高校入学資格の取得	23	16.1%
2. 中学校教育の修了	23	16.1%
3. 中学校程度の学力習得	66	46.2%
4. 読み書きの習得	45	31.5%
5. 学校生活を経験したい	36	25.2%
6. 就労・生活のため	44	30.8%
7. その他（具体的に）	19	13.3%
無回答	6	4.2%
計	262	



「自分が学んでみたい」と答えた人の夜間中学に期待することは「中学校程度の学力習得」が最も多く、次に「読み書きの習得」「就労・生活のため」「学校生活を経験したい」「高校入学資格の取得」「中学校教育の修了」の順であった。

※質問1で「自分が学んでみたい」と答え、質問2で「中学校を卒業していないから」と答えた人の質問5の回答（複数回答可） [n=6]

1. 高校入学資格の取得	2
2. 中学校教育の修了	2
3. 中学校程度の学力習得	3
4. 読み書きの習得	0
5. 学校生活を経験したい	1
6. 就労・生活のため	0
7. その他（具体的に）	1
無回答	1
計	10

「自分が学んでみたい」と答え「中学校を卒業していないから」と答えた人が夜間中学に期待することで最も多かったのは「中学校程度の学力習得」で、次に「高校入学資格の取得」「中学校教育の修了」であった。

※質問1で「自分が学んでみたい」と答え、質問2で「卒業したが、学び直したい」と答えた人の質問5の回答（複数回答可） [n=113]

1. 高校入学資格の取得	19
2. 中学校教育の修了	19
3. 中学校程度の学力習得	55
4. 読み書きの習得	33
5. 学校生活を経験したい	30
6. 就労・生活のため	35
7. その他（具体的に）	15
無回答	4
計	210

「自分が学んでみたい」と答え「卒業したが、学び直したい」と答えた人の夜間中学に期待することで最も多かったのは「中学校程度の学力習得」で、次に「就労・生活のため」「読み書きの習得」「学校生活を経験したい」であった。

※質問1で「自分が学んでみたい」と答え、質問2で「外国人で、知識や技能を学びたい」と答えた人の質問5の回答（複数回答可）[n=18]

1. 高校入学資格の取得	2
2. 中学校教育の修了	1
3. 中学校程度の学力習得	4
4. 読み書きの習得	12
5. 学校生活を経験したい	5
6. 就労・生活のため	6
7. その他（具体的に）	3
無回答	0
計	33

「自分が学んでみたい」と答え「外国人で、知識や技能を学びたい」と答えた人の夜間中学に期待することで最も多かったのは「読み書きの習得」で、次に「就労・生活のため」「学校生活を経験したい」であった。

質問6 具体的な資料を送ってほしい、相談したい、詳しくお話を聞かせていただける方は、連絡先をご記入ください。

記述あり 81 無回答 729

～具体記述～

連絡先記入（58件）

資料を送ってほしい。

亡き母は、文字を書くことができませんでした。今、生きていたら、夜間中学校へ通わせたいです。

岡山に夜間中学校をぜひつくってください。

今後夜間中学校を必要とする人に教えてあげたい。

とてもよい活動をしているので、応援したい。

4. アンケート調査のまとめ

14,079 枚のアンケート調査用紙を配布したのに対し、810 通の回答があり、回収率は 5.8% でした。身近な商業施設や医療機関および工業団地等にも調査用紙を配布するなど、ニーズが高いと思われる人に対してアプローチできたことが、高い回収率につながりました。

また、質問 1 で「夜間中学のことを知らせたいと思う人があなたのまわりにいますか。または、あなたは夜間中学で学んでみたいと思いますか。」(複数回答可) に対し、143 人が「自分が学んでみたい」、103 人が「身近にいる」、100 人が「思いつく人がいる」となりました。肯定的に捉えている合計回答数は 346 であり、全回答数の 858 に対して 40.3% となりました。

質問 1 で「自分が学んでみたい」と答えた 143 人の結果をまとめると、質問 2 「その人に知らせたい、またはあなたが学びたい理由を教えてください。」(複数回答可) への答えは、「卒業したが、学び直したい／学び直してほしいから」が 113 人で最も多くなりました。さらに、質問 5 「あなたが、夜間中学に期待することは何ですか。」(複数回答可) への答えは、「中学校程度の学力習得」が 66 人で最も多く、次に「読み書きの習得」「就労・生活のため」「学校生活を体験したい」「高校入学資格の取得」「中学校教育の修了」と続きました。

この 143 人の中で、質問 2 で「中学校を卒業していないから」と答えた 6 人のうち、質問 5 「あなたが、夜間中学に期待することは何ですか。」(複数回答可) への答えは、「中学校程度の学力習得」「高校入学資格の取得」「中学校教育の修了」がほぼ同数でした。また、質問 2 で「卒業したが、学び直したい」と答えた 113 人のうち、質問 5 「あなたが、夜間中学に期待することは何ですか。」(複数回答可) への答えは、「中学校程度の学力習得」が 55 人で最も多く、次に「就労・生活のため」「読み書きの習得」と続きました。質問 1 で「自分が学んでみたい」と答え、質問 2 で「外国人で、知識や技能を学びたい」と答えた 18 人のうち、質問 5 「あなたが、夜間中学に期待することは何ですか。」(複数回答可) への答えは、「読み書きの習得」が 12 人で最も多く、次に「就労・生活のため」と続きました。

以上のことから、夜間中学を必要とする人は、「中学校を卒業していない」「卒業したが、学び直したい」「外国人で、知識や技能を学びたい」人であり、「高校入学資格の取得」「中学校教育の修了」「中学校程度の学力習得」「読み書きの習得」「学校生活を体験したい」「就労・生活のため」という義務教育段階の学習内容を望んでいることが分かりました。また、学び直し場として夜間中学を求めるニーズがあることが分かりました。

5. ヒアリング調査結果

○ヒアリング対象者について

ヒアリングをした人数：51名

内訳 ・岡山自主夜間中学校通学者：41名

・アンケート調査からの希望者：10名

性別

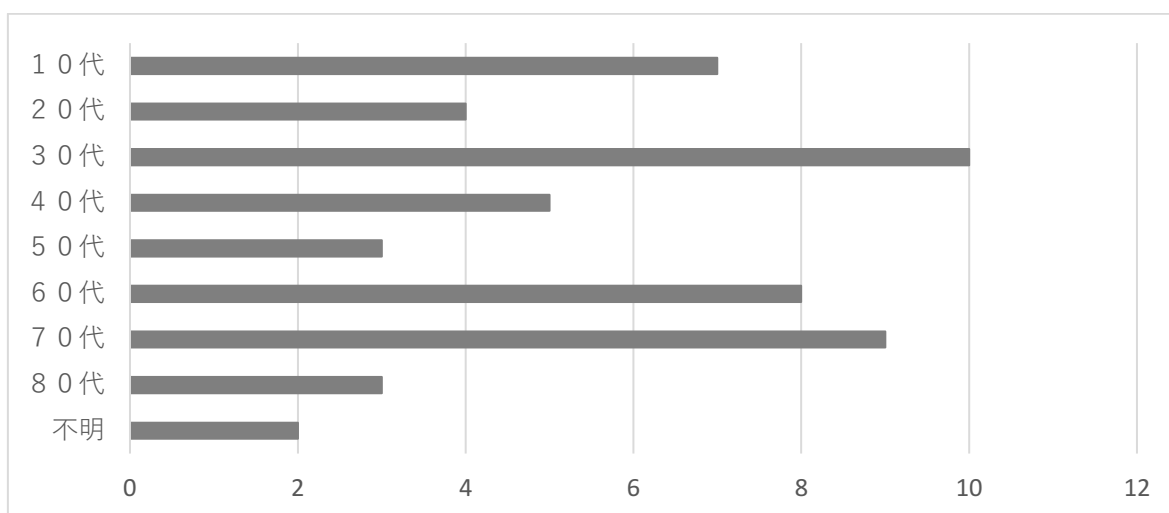
男	23
女	28
計	51

最終学歴等

小学校	1
中学校	15
高等学校	10
専門学校	3
短大、大学等	6
現役中学生	3
現役高校生	4
なし	1
不明	8
計	51

年齢

10代	7
20代	4
30代	10
40代	5
50代	3
60代	8
70代	9
80代	3
不明	2
計	51



○ヒアリング結果

- ・上段・・・これまでの学び、生活の様子
- ・下段・・・夜間中学校に期待すること

(1) 女 80代

- ・戦後の混乱期、家庭が貧しく、小学校5年生ごろからは、全く学校へ行ったことがなかった。貧しさのため、若くして岡山に奉公に出る。出入りしていた一女の先生について文字の練習をし、辞書を引いて、毎晩日記をつけていた。
- ・特に、数学を学びたいが、数学以外にも何でも学びたい。

(2) 女 60代

- ・子どもの頃から、家事に従事してきた。年齢を偽ってアルバイトをし、家を出て19才で結婚した。
- ・シニアスクールに通っていたが自分にはあわず、岡山自主夜間中学校に来た。(職場で)英語の恥をかいたので、英語の勉強がしたい。

(3) 女 年齢不明

- ・学校には、ほとんど通っておらず、あまり仕事をしたこともない。読み書き・計算や英語など、ほとんど理解できていない。
- ・これまでほとんど勉強していないので、いろいろな勉強がしたい。

(4) 女 70代

- ・学校生活のことは、あまり覚えていない。製造業勤務後、ビルの清掃業務に約10年従事。
- ・ひらがなや漢字が書けるようになりたい。絵本も読めるようになりたい。

(5) 男 30代

- ・学齢期には、友達とよく遊んだことを覚えている。父親が昨年亡くなり、母親が気弱にしている。自分も仕事が長続きせずに母親に心配をかけている。
- ・算数・数学の勉強がしたい。いろいろな人と平等に学ぶことを経験したい。自分は広汎性発達障害であるが、まわりの人が多様性を認め合える学校であってほしい。

(6) 男 70代

- ・日本で韓国籍の父母のもとに出生。幼児期、母親と韓国へ帰る。母親が死亡後、親せきの家をたらい回しにされ、勉強どころではなかった。父親が日本にいることを知って日本に戻る。韓国語ができるが日本語は十分できない。
- ・昼間仕事をして、夜は夜間中学で勉強したい。学校では教養を高め、多くのことを知りたい。自分の思いをきちんと人に話すことができるようになりたい。

(7) 男 30代

- ・小学校3年生の夏から糖尿病を患い、不登校となり、そのまま中学校を形式卒業する。文字を読み書きできなかつたため、就職のための履歴書を書けない。人にバカにされ、社会からも身を引いて暮らしてきた。一時造園業の職に就いたが、体力の問題から離職した。
- ・もう一度やり直そうと思い、2年前から岡山自主夜間中学校に通っている。公立夜間中学校に通うという目標があることで、人生をやり直そうという決意をもつことができる。

(8) 女 70代

- ・父親が早く亡くなり、小学生から母子家庭となって家事手伝いに明け暮れ、勉強する機会が少なかった。形式卒業であり、読み書きが十分できない。
- ・字が書けるようになりたい。知り合いに手紙を書けるようになりたい。ローマ字から勉強して、英語が少し分かるようになりたい。学校生活を楽しまたい。公民館は地域にあるが、町内の人がいったりして、自分の学習状況を知られたくないので絶対に嫌だ。

(9) 男 20代

- ・3才位で両親が離婚。母親が一家を支え、祖父母に面倒見てもらいながら育った。学校でも勉強に全くついていけず興味もなく、中学卒業と共に友達もいなくなり、家族以外との付き合いはほとんどない。中学校2年生の時、学習困難の自閉症スペクトラムと診断された。高校に行く気はなかったが、家族に勧められて定時制高校へ入学するも中退。その後は、コンビニなどのアルバイトを転々と経験した。
- ・小学校高学年から中学校の勉強をもう一度しっかりと学び直して、高校を受験したい。手に職をつけて、母親を早く楽にさせたい。中学校卒業後、全く友達や相談相手もない。学校生活で何でも話せる友達がほしい。

(10) 女 40代

- ・3才の時、父親が他界。5才の時、母親と一緒に岡山に来た。母親も10年前に他界。現在、一人暮らし。若年性認知症（アルツハイマーあり）。家にいるのが嫌で学校へ行っても居場所がなく、当時木造の中学校の床下で日中を過ごす日も多かった。
- ・学力をつけて、短大、大学に入りたい。将来は、障がいのある子ども達のために施設を運営したい。

(11) 女 40代

- ・算数ができず、よく怒られたことがトラウマになり、小学校1年生から少しずつ不登校になった。
いじめがあって先生に話したが、何も聞いてくれなかった。中学校3年生からは、完全に不登校になった。専門学校まで進学したが、1年でやめた。
- ・バレーボール、ソフトボールなどみんなでやれる競技をやったり、家庭科など生活していく上で必要なものを学べていないのでその学び直しをやりたい。

(12) 男 70代

- ・小学校時代から貧困家庭のため、家事の手伝いに明け暮れた。
家事全般と兄弟たちの面倒を見ていたため、学校に行く暇がなかった。勉強についていけず、いじめにもあった。中学校卒業後、日本料理の板前修業をして店をもった。
- ・すべて何でも身につけたい。読み書きができるようになったら、お世話になった人たちにお礼の手紙を書きたい。自分の人生を振り返って自叙伝が書きたい。若い人たちにそれを読んでもらって、自分のような苦勞をしないように、学びの大切さを教えてあげたい。
夢であるが、しっかり勉強して高校や大学にも行ってみたい。

(13) 男 50代

- ・小学校は特別学級、中学校は普通校の普通学級。
中学校卒業後は、学力的にも経済的にも進学できず、板前になった。
- ・中学校時代は勉強についていけなかったもので、とにかく、どんどん勉強をしたい。文章が書きたい。本が読みたい。計算ができるようになりたい。英語も書いたり読んだりできれば、英語で話したり、英語の映画も観たい。
友人に二人くらい、夜間中学校へ行ってみたいという人がいる。

(14) 男 30代

- ・学校では、部活（卓球）に打ち込んでいた。飲食店、自営業、政治団体などを経験。やりたい事がたくさんあり、飲食業で働きながら自営業を始めた。
- ・学び直しで、基礎学力をもう一度向上させたい。
級友と過ごし、現役の中高生とコミュニケーションを取りたい。青春を取り戻したい。

(15) 女 10代

- ・幼少期から現在まで、物静かでおとなしい性格である。学校にはほぼ毎日行っているが、家ではゲームをしていることが多い。
- ・授業について行けないときがあるので学力を向上させたい。高校入学までの学力を身につけたい。将来は介護福祉士の資格を取りたいので、職場見学や職場体験をしてみたい。

(16) 女 10代

- ・普通の学校生活が送れており、特に不登校ではない。
新聞は読めるが、漢字が苦手。
- ・中学校1年生からの英語の学習、国語の勉強がしたい。相性の良い先生に習いたい。
就職はしたい。

(17) 女 70代

- ・朗らかで、先生と仲良しだったが、勉強はあまりしなかった。中学校に入ってから、勉強は理解しにくかった。
現在、週2回はシニアスクールへ通学、月1回は絵を習っている。
- ・字の読み書きができないので、国語の勉強をじっくりしたい。簡単な本が読めるようになりたい。
足が悪くなってきており、近いところに通いたい。便利のいいところに通いたい。

(18) 女 70代

- ・中学校までは祖母が面倒をみてくれたが、これ以上は申し訳ないので、高校には進学せずに働くこととした。
- ・シニアスクールに行っていたがお金もかかるし、学びのスタイルがあっていなかった。
楽しくいろいろなことをやりたい。国語、社会、音楽、美術、体育の勉強がしたい。

(19) 女 10代

- ・中学校1年生の時、英語でつまづいた。
- ・高校2年生の今、学校で一から教わることは難しいので学び直したい。
読み書き、計算、すべてがちゃんとできるようになりたい。
英語、数学、古文、漢文を強化したい。

(20) 女 60代

- ・ここに来なければ、学び直しをすることなどなかった。
- ・一人ひとりに合わせているスタイルがとても楽しく、気に入っている。趣味の範囲でやりたい。少し英語ができるようになったらいいと思う。

(21) 女 60代

- ・小中学校生活が楽しくなかった。学校生活には、嫌な思い出が多い。
過去に数年間、シニアスクールに参加した経験がある。
- ・英語の勉強を主にしたい。
公立化になれば通いやすい人がたくさんいるので、早く公立化になってほしい。

(22) 女 60代

- ・小学生の頃から、黒板に書かれたものを書き写せないなど、読み書きが遅く、何をしても皆のスピードについていけない。学習程度がばれるため、地元の高校には行かず、高校受験には苦労した。
- ・すべてをやり直したい。書けないことが恥ずかしいから、当て字ばかり書いているのがつらいので漢字の書き取りをしたい。
行かせてもらえるのなら、もう一回、中学校や高校にちゃんと行ってみたい。

(23) 女 60代

- ・兄が粗暴で、問題をよく起こし、家庭が混乱していた。貧困のため、親に高校へ行きたいとは言えなかった。勉強は好きだったが、勉強しても仕方がないと諦めていた。
成人してからも、学歴がないのがコンプレックスだった。
- ・もう一度、好きだった勉強を中学校から学び直したい。高校へ行きたいという夢の実現。
今から、青春。友達もいっぱい作りたい。

(24) 女 70代

- ・小中学校を通じて学力は中位程度であり、中学卒業後、何度も高校受験したいと思ったが、家庭の事情でできなかった。高校へ行きたいという夢はずっと捨て切れず、定時制高校を今年受験し合格した。
- ・漢字は読めても書けないので、書けるようになりたい。
岡山自主夜間中学校に通ってみて、これまでの人生で、こんなに学校生活が楽しく、勉強できることがうれしいと思ったことがない。

(25) 女 40代

- ・小学校期から体を動かすことは好きだったが、学科の学習には全く興味が持てなかった。ノートはとるものの自分から勉強したことはほとんどなく、中学校ではさらに困難な状況が続いた。学力が全くと言っていいほどないので、運送業者の荷分け作業など時折軽作業のアルバイトを経験した。
- ・中学校程度の学力をつけて、定時制高校を受験したい。就労だけが目的ではなく、学ぶことで考え方がまとまっていく。ある意味で人生をやり直してみたい。

(26) 男 70代

- ・幼くして、母子家庭で育つ。小学校期に不登校のため遅れを取り、字を上手に書くことができなかった。試験などの解答がうまく書けず、すべての教科に悪影響が出た。高校時代には生徒会長を務めるなど、積極的に活動した。
- ・字がうまく書けなかったことを取り返したい。小学校6年生ぐらいの算数の基礎からもう一度しっかりと学び直したい。生徒会活動が必要。新聞部などの部活動も含めて、生徒の自主的な活動を行ってほしい。

(27) 男 60代

- ・学力優秀であったが、小学校3年生ごろ、学習をめぐり先生とのトラブルがあって、勉強をする気がなくなった。ほとんど独学に近い状態で小学校、中学校を卒業後、高校へ進学。
- ・数学をしっかりとやり直したい。統計をしっかりと学びたい。母親の介護が中心の生活であり、生活の上で時間的に制約がある。家にじっとしていたら全然勉強しないが、今日は夜間中学があると思うと元気が出る。とにかく学校に来ることがひきこもり予防になる。

(28) 男 40代

- ・小・中・高校には問題なく通学。美容師として生計を立て、特に不自由なことは感じていないが、いろんな人といろんなことを学んでいきたい。
- ・基本的なものを見直して自分自身を向上させたい。学校生活では得られなかった多様な人との関わりを理解したい。

(29) 男 50代

- ・中学時代、非行にはしり、勉強はあまりしていない。一応高校に進学したが、中退した。
- ・中学校レベルの数学と国語ができるようになれば、今後生活において支障がないと思っているので、それくらいの学力を身につけたい。妻も一緒に学ばせたい。

(30) 男 年齢不明

- ・知的障害がある。
中学校時代にいじめにあってから学校にあまり行っていない。
- ・将来の資格や仕事をするためにも学び直したい。
別の仕事をするようになった時に困らないように学んでおきたい。

(31) 女 20代

- ・小学生の頃、算数につまずく。中学校、高校と、すべて基礎が分からないまま覚えることで、乗り切ってきた。
- ・算数・数学を学び直したい。学校生活のすべてをもう一度体験してみたい。英語は中学校では得意な方だったが、高校からは十分な勉強ができなかったのもう一度やり直したい。公開授業や課外学習を楽しみたい。

(32) 男 30代

- ・学齢期不登校だったため、義務教育で学ぶべき内容が学べていない。
- ・現在、フリースクールに通う。岡山自主夜間中学校のことを知り、興味もある。

(33) 男 60代

- ・両親とも共働きの貧困家庭で育ち、両親が子どもの教育に目が行き届かなかったこともあり、学習から疎遠になった。
小学校2年生くらいから算数が分からなくなり、中学校の数学は全くついていけなかった。
- ・小・中学校の基礎学力を身につけたい。学校行事には、できるだけ参加したい。
やがて小学校に上がる孫が聞いてくることには答えられるようになりたい。
せめて、小学校5～6年生程度までは分かるようになりたい。

(34) 女 10代

- ・数学の授業についていけない。数学の遅れを取り戻したい。
- ・岡山自主夜間中学校は、先生が分かりやすく教えてくれる。
話しやすくて学びやすい。身につく。

(35) 男 20代

- ・中学校卒業後、しばらく無職だったが、その後就職しており現在は忙しい。
- ・数学力の強化をしたい。
岡山自主夜間中学校はマンツーマン指導が魅力。先生が優しい。
週2回は通いたい。公立化で週5回になっても通ってみたいが、通学が難しければ、自主夜間中学校に通う。

(36) 女 10代

- ・小学校・中学校の時は物静かではあるが、友人もあり、楽しく過ごせた。皆の前で質問をしたり発表したりすることは苦手。
- ・中学時代は勉強が嫌いで、ほとんど勉強をしなかったので、学び直し（復習）で基礎学力を身につけたい。
大学に進学し、小さな子どもに関わる道に進みたい。当初は保育士を目指していたが、最近では児童福祉にも興味がある。

(37) 男 30代

- ・普通学級に通っていたが勉強は嫌い。小学校から中学校3年生の3学期までは毎日登校していたが、中学校3年生の3学期に委員会活動で嫌な事があり、登校できなくなった。小中学校と勉強が嫌いだったので、学科は全く不得意。現在は、岡山自主夜間中学校で英語と数学を主に勉強している。
- ・漫画を描いていて、「自分は学力がないなあ」と感じる時がある。漫画制作でストーリー展開を広げるために、勉強したことを生かしたい。

(38) 女 50代

- ・中国の大学を卒業。日本に20年滞在。
- ・日本語の「読む」「書く」を系統立てて習得したい、学びたい。
音楽も学びたい。中国では日本の学校のような形での音楽の教科はなかった。
先生たちが丁寧に教えてくれるのがありがたい。もっと回数を増やしてほしい。

(39) 女 40代

- ・学校にあまり行っていない。
- ・生活する上で知らないことがたくさんあるので、困らないように知識をつけたい。
学び直しをしたいと思っているが、何からしたらいいのか分からない。
夫と一緒に一からやってみたいと思う。

(40) 男 30代

- ・ベトナム国籍、現在岡山市内で働いている。
- ・日本語能力試験（JLPT）N2の取得を目指している。

(41) 女 30代

- ・留学生（スリランカ国籍）。スリランカで1年、日本語の勉強をした。来日して7年、岡山に2年目。
- ・日本で就職したいので、読む・書く・話すことがもっとできるようになりたい。
日本語能力試験（JLPT）N2の資格をとりたい。

(42) 女 30代

- ・複雑な家庭環境の中で育つ。中学時代、いじめに遭っていた。
大学まで進学したが、なんとなく行っていたという感じ。身についているという感覚がない。大人になって、自閉症スペクトラムと診断される。
- ・自分の中に何も残っていない感じがするので、やり直したい。
他の人から見ると、自分がこのような生きづらさを感じているのを理解されないと思うが、ごまかしながら生きていくのは、とてもつらい。

(43) 男 60代

- ・複雑な家庭環境で、幼少期はよその家に預けられていた。親子関係がうまくいかず、高校2年生の時、不良になり、退学した。
職を転々として日本各地を歩き、3年前に岡山に来た。
- ・誰も知らないのでひきこもりがちであり、人との関わりを持ちたいと思っている。
学び直しをしたいという気持ちがないことはないが、まず人とのコミュニケーションを取りたい。

(44) 男 70代

- ・中学時代、通学はしていたが、あまり勉強はしておらず、特に数学が苦手だった。
中学校を卒業した後、理容師になった。その後はいくつかの職を転々とした。
中学校の時、数学が分からなかった。そのため、仕事に就いてからもいろいろと苦労した。
- ・数字に弱いから、いろいろとだまされたり、損をした。今からでも、読み書き・計算をやってみたいという気持ちがある。

(45) 女 10代 (父親談)

- ・起立性調節障害により朝起きられず、不登校である。
現在、フリースクールに通っている。
- ・小中学校での勉強があまりできていない。
基本的なことも十分できていないので、ペースに合わせてやらせてやりたい。
これからのことを考えて、夜間中学校を一つの選択肢として考えている。

(46) 男 30代

- ・ベトナムのハノイ大学卒業。御津工業団地に勤務。
- ・日本語、英語の習得を目指している。
学校生活を経験したい。友人をつくりたい。

(47) 男 30代

- ・現在は無職。
- ・義務教育の時はそうでなかったのに、進んで勉強する態度を身につけたい。知識だけでなく、算数、数学、読書などの理解を深めたい。義務教育を振り返る場所が必要だと思う。

(48) 男 80代

- ・成績優秀で級長。勉強は好きだったが、とにかく家庭では労働力だったので、家から出て働き通しだった。英語や国語は好きで昔からよく勉強をしていたが、数学となると苦手意識があり、方程式や関数になると全く理解できなかった。
- ・基礎学力を身につけ、行く行くは高校の授業も受けてみたい。パソコンや電子機器に関して興味はある。自分より若い世代の方々と関わるのが楽しい。

(49) 女 80代

- ・学校には、ほぼ出席。好奇心旺盛に学業に取り組んでいた。
- ・古典文学にまだまだ興味関心があり、学びは続けていきたい。好奇心を満足させるよういつまでも勉学に取り組みたい。岡山自主夜間中学校での行事の体験はとても刺激的・魅力的なので、まだまだ積極的に参加していきたい。

(50) 男 20代

- ・支援学校(中～高校)に通学したが、周囲とのコミュニケーションが少なく、学校行事には積極的ではなかった。どの教科も中学校程度の内容はかなり厳しい。A型事業所に通っている。日常生活の中での会話は問題ないが、読み書きは苦手であり、漢字は特に苦手。
- ・生活の中で困らない最低限のコミュニケーションを進んで取っていきけるようにさせたい。生きる力を身につけたい。(母親談)

(51) 女 10代

- ・中学校の時、不登校だった。交友関係もとても少なく、ごく限られた友人とだけの関わりしかなかった。
- ・中学生の時まではとても苦手だった年上の人とのコミュニケーションをたくさん経験してストレスなく関わりを持っていきけるようにしていきたい。岡山自主夜間中学校の雰囲気がとても馴染みやすいので、ここに継続して通い続けたい。

○習得・経験したいことについて（複数回答あり）

高校入学資格の取得	4
中学校程度の学力習得	32
読み書き・計算の習得	24
就労・生活のための能力や資格	19
学校生活の経験	24
計	103

「あなたが夜間中学で習得・経験したいことは何か。」と聞いたところ、最も多かったのは「中学校程度の学力習得」で、次に多かったのが「読み書き・計算の習得」と「学校生活の経験」であった。

○通学できる日数や時間について

毎日	12
週3日	2
週2日	1
週1日	6
月2日	8
不明	22
計	51

1時間以上	2
1時間	9
30～40分	19
10～20分	2
不明	19
計	51

学び直しのスタイルとして、通学可能な日数を聞いたところ、「毎日」と答えた人が12人であった。また、「不明」と答えた人が22人であった。

通学時間は、「30～40分」と答えた人が19人であった。また、「不明」と答えた人が19人であった。

6. ヒアリング調査のまとめ

ヒアリング調査は、「夜間中学に関するニーズ調査」におけるアンケート調査を受けて行ったものであり、夜間中学を必要とするニーズの具体的内容をより深く把握するために実施しました。そのアンケート調査で、回答された方の中から、岡山自主夜間中学校通学者 41 名と一般回答者 10 名にヒアリング調査を行いました。とりわけ一般回答者が、アンケート調査用紙に自分の名前、連絡先を書いてくださったことで、一般回答者へのヒアリング調査が可能となりました。そして、ヒアリングでは夜間中学での学び直しを求める動機やどんな内容の学びを望んでいるかを中心に聞き取りました。

○ヒアリング対象者が夜間中学での学び直しを求める背景や動機

Aさんは、戦後の混乱期に家が貧しかったがために家の手伝いをせざるを得なくなり、小学校3年生からは学校に通うことができず、結局中学校を卒業できませんでした。若くして働き始め、一家を支えてきましたが、80才を過ぎた今、学校で学ぶ機会を持つことができなかったことをとても悔やんでおられます。

Bさんは、複雑な家庭環境で育ったがために、心のよりどころを失い、学校に行けなくなり、形式的に中学校を卒業したまま社会に出ました。働こうにも安定した仕事に就くことができず、自暴自棄な生活を送らざるを得ませんでした。幸いにも伴侶に恵まれ、伴侶から「一緒に、夜間中学で、がんばりましょうね。」と背中をおされ、学ぶことを通して人生をやり直そうと決意されています。

Cさんも、小学校3年生から、病気の影響もあり不登校となり、中学校にも通えず卒業しました。亡くなった母親の残した言葉を思い出し、夜間中学でしっかり勉強し、仕事に就き、がんばっている自分の姿を天国にいる母親に見てもらいたいと考えておられます。

学齢期の不登校生徒のDさんは、学校に行けなくなった自分を毎日責めています。家族やまわりの人が自分のことを気にかける度に、いっそう心を痛めています。自分を受け入れてくれる学校はないかと探し求められています。

外国人のEさんは、仕事を求めて日本にやってきましたが、慣れない日本での暮らしに不安をいつも感じています。日本語ができないために、日本社会の中に入っていけません。

Fさんは、戦後日本に来ましたが学校には通っておられません。学校で学べなかったために、仕事や生活でたいへん苦労しました。それでも自分の思いを多くの人に分かってもらいたい、伝えたい、だから夜間中学で勉強したいんだと言っておられます。

このように、年齢や経験、国籍等など対象者の置かれた背景によって夜間中学での学びを必要とする動機はさまざまですが、義務教育の学び直しをしたいという背景や気持ちがよく分かりました。

○ヒアリング対象者が求める学びの内容

「あなたが夜間中学で習得・経験したいことは何か」と聞いたところ、最も多かったのは「中学校程度の学力習得」でした。学習を通じて「なるほど、分かった」という実感が湧く学びを求める声がありました。次に多かったのが「読み書き・計算の習得」と「学校生活の経験」でした。「読み書き・計算の習得」という基礎学力を在学中に身につけ、生活や仕事の場面で役立てたいと言われました。「学校生活の経験」では、今度こそ自分を取り戻し、まわりの仲間とともに「夜間中学に通ってよかった」と思える学校生活を期待されています。また、「就労・生活のための能力や資格」という回答もありました。就職に必要な知識や技能を身につけ、早く仕事に就きたいという切実な願いを持っておられます。

51人は、夜間中学を求める人の一部ではありますが、ヒアリング調査をして分かったことは、年齢、経験、国籍など違いはあるものの、夜間中学で学び直しをしたいという思いは共通しているということです。また、求める学びは「中学校程度の学力習得」「読み書き・計算の習得」「就労・生活のための能力や資格」など義務教育段階の学習内容であることが明らかになりました。直接聞き取ることにより、夜間中学を必要とするニーズの中身がより詳しくなりました。

7. おわりに

本調査では、夜間中学での学び直しをしたいというニーズはあるのか、また、どのような学びを求めているのかを調査するアンケート調査と、その中から詳細な聞き取りに協力していただける人から学び直しをしたいという思いやその理由（経緯）等を調査するヒアリング調査の2段階で調査しました。

アンケート調査では、配布枚数 14,079 枚の 5.8%にあたる 810 通の回答がありました。当初は回答数 150 通を目標にしていたのですが大幅に上回る結果となりました。このことは、公共施設にとどまらず民間施設（身近な商業施設や医療機関および工業団地等）にもアンケート調査用紙を配布するなど、岡山市市民協働推進モデル事業としての特色が生かされ、アンケート調査そのものが、今まであまり知られていなかった夜間中学について、より多くの市民に知っていただくことにつながったからだと考えています。また、アンケート調査からは、夜間中学で「自分が学んでみたい」と答えた人が 143 人、夜間中学のことを知らせたいと思う人が「身近にいる」が 103 人、「思いつく人がいる」が 100 人でした。この夜間中学を肯定的に捉えている 3 つの項目の合計回答数は 346 であり、全回答数の 858 に対して 40.3% となりました。

あわせて、学び直しのニーズの内容についてより具体的に把握するために行ったヒアリング調査には 51 人の協力が得られました。ヒアリング調査に協力してくださった方々の学び直しに対する思いは非常に強く熱いもので、学校を卒業した後に勉強の必要性を改めて感じ勉強をしたいと思われている人、家庭や社会の事情により学校に通いたくても通えなかった人、不登校になって学ぶ機会を失った人などが夜間中学を必要としていることを話してくださいました。アンケート調査とヒアリング調査という本調査を通じて、夜間中学を求めるニーズが確かにあるということが鮮明になりました。

今回の夜間中学に関するニーズ調査の目的は、夜間中学での学び直しの場を求める人の生きた声から、「どんな人が」「どんな学び直しを求めているか」を明らかにし、「どんな体制が必要か」など今後の岡山市における取組や仕組みづくりを検討するための基礎資料を得ることでした。その目的を達成するために、これまで把握することができていなかった潜在的な学び直しのニーズを持った人からの声もできるだけ丁寧に集めようと、一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会と岡山市教育委員会が協働して調査を行い、学び直しのニーズの状況を可能な限り具体的に把握することができた調査結果を得ました。ただし、ヒアリング調査が 51 人しかできなかったことや限られた時間内での聞き取りになってしまったため、十分な聞き取りにはいたらなかった面もあります。そのため、今後も学び直しのニーズについては継続して把握する必要があると考えます。今回の調査で明らかになった夜間中学での学び直しの場を求める声に対して、どのような体制の構築が、本市における学びの場の充実につながるものであるのかについて、具体的な方法を検討するために、本報告書が基礎資料となることを期待します。

—資料編—

1. アンケート調査用紙

夜間中学について

◎はじめに、夜間中学についてご説明します。

夜間中学とは、夜の時間帯に授業が行われる公立中学校の夜間学級のことをいいます。

夜間中学では、様々な理由により、義務教育を修了できなかった人や、本国で義務教育を修了していない人、また、不登校等のためにほとんど学校に進えなかった人たちが学んでいます。

現在、全国9都府県に設置されていますが、岡山県には夜間中学はありません。

次の説明を読んだうえで、夜間中学に関するアンケートへの回答にご協力ください。

1 夜間中学も昼間の中学校と同じ公立の学校です

- 毎日、授業があります(土日、祝日を除く)。授業料は無償です。
- 昼間の中学校と同じ教科(国語、社会、数学、理科、音楽、保健体育など)の授業があります。
- 教員免許を持っている公立中学校の教員が先生です。
- 全ての課程を修了すれば、中学校卒業となります。

2 夜間中学に入学できるのは、次の①～③です

- ① 満16歳以上で、中学校を卒業していない人
- ② 中学校を卒業しているが、不登校や病気、家庭環境等の理由で、中学校での教育をほとんど受けられなかった人
- ※ ①②ともに、外国籍の方も対象となります

夜間中学を知っていますか？

このアンケートは、「学ぶことは生きること」義務教育学び直しサポート事業(平成31年度岡山市市民協働推進モデル事業)として、夜間中学のニーズ調査を行うものです。いただいた内容は、国・都道府県・市区町村における教育施策の検討にのみ利用させていただくもので、個人の情報が他に漏れたり、他の目的に利用することは一切ありません。(調査期間6月～8月;回答締切8月31日必着)

【調査実施機関・お問い合わせ先】 一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会

〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館2階
電話:070-4495-4448
留守番電話になることがあります。電話番号をお伝えください。のちほど連絡を差し上げます。

調査主体: 一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会
協働課: 岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課・岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課

郵便はがき

料金受取人住所 700-0879 岡山市北区南方2丁目13-1 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館2階

見本

差出人住所 一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会

(切手不要)

夜間中学についてのアンケート調査 ご協力をお願い

裏面の夜間中学の説明を見ながら以下のアンケートに答えてください。

夜間中学入学該当者のため、一部の質問にルビを振っていますが、一般市民の方への質問も多くあります。ぜひ質問1から順にお答えください。

学び直しのニーズを調べるためのアンケートを実施しています

あなたの身近に、学ぶ、学び直しを必要としている人がいませんか?

調査期間 令和元年 8月末日まで

電話でのお問い合わせ先 070-4495-4448

具体的な資料を送ってほしい、相談したい、詳しくお話を聞かせていただける方は、連絡先をご記入ください。

質問1 質問2 質問3 質問4 質問5 質問6

1. 身近にいる人(親戚、友人、知人など)がいますか。または、あなたは夜間中学で学んでみたいと思いますか。(いくつかも)

2. 学び直したい理由を教えてください。(いくつかも)

3. その人(たち)とあなたの関係を教えてください。(いくつかも)

4. 学びたい/学んでほしい人のことを教えてください。

5. あなたが、夜間中学に期待することは何ですか。(いくつかも)

6. 具体的な資料を送ってほしい、相談したい、詳しくお話を聞かせていただける方は、連絡先をご記入ください。

1. 身近にいる人(親戚、友人、知人など)がいますか。または、あなたは夜間中学で学んでみたいと思いますか。(具体的に)

2. 自分が学んでみたい

3. 自分に学んでほしい理由を教えてください。(いくつかも)

4. 学び直したい/学んでほしい理由を教えてください。(いくつかも)

5. 外国人で、知識や技能を学びたい/学んでほしい理由を教えてください。(いくつかも)

6. 本人

7. 家族・親族(具体的に)

8. 友人・知人

9. その他(具体的に)

年齢: 10代 20代 30代 40代 50代 60才以上

性別: ()

お住まいの市町村: ()市・町・村

1. 高校入学資格の取得

2. 中学校教育の修了

3. 中学校程度の学力習得

4. 読み書きの習得

5. 学校生活を体験したい

6. 就労・生活のために

7. その他(具体的に)

○電話番号または住所

2. 外国語版調査用紙（抜粋）

英語版アンケート調査用紙（一部）

*After reading the following explanation, please fill out the questionnaire at the back.

About YAKAN CHUGAKU (a nighttime junior high school course)

◎What is it?

“YAKAN CHUGAKU” refers to a night course offered at public junior high schools for both Japanese and non-Japanese nationals who could not complete compulsory education in Japan or in their home countries. Yakan Chugaku provides re-education opportunities for both the young and the old that are aspired to return to the classroom to repursue what they missed in their childhood.

Despite of its role as a lifetime education provider, the program has not been fully introduced nationwide as only nine municipalities have publicly set such courses. Likewise, Okayama is among many prefectures that are yet to launch the initiative.

中国語版アンケート調査用紙（一部）

一邊看背面的夜間初中的說明，請回答以下的問卷調查。我們將紅寶石發送到夜間初中入學適用人員的一些問題，但是對於普通大眾來說也有很多問題。請務必從問題 1 順序回答。

問題 1

你周圍有人想讓你知道晚上的初中嗎？或者你想在晚上初中學習？（任何數字○）

1. 我很親密
2. 有人提出想法/地點（團體，工作場所等）
（具體:）
3. 我想學習
4. 周圍沒有，我不想學習自己

韓国語版アンケート調査用紙 (一部)

질문 2 주위분들께 알려드리고 싶은 내용이나 본인이 배우고 싶은 이유를 가르쳐주세요. (해당되는 곳은 모두 ○ 해 주십시오.)

- 1, 중학교를 졸업하지 못했다
- 2, 졸업은 했지만 다시 배우고 싶다. / 다시 배워보기를 바래서다.
- 3, 외국인으로서 배워보고 싶다. / 배우기를 원해서다.

질문 3 그 분들과 본인과의관계를 가르쳐 주세요. (해당되는 곳은 모두 ○ 해 주십시오.)

- 1, 본인
- 2, 가족·친족 (구체적으로 :)
- 3, 친구·지인
- 4, 기타 (구체적으로 :)

ポルトガル語版アンケート調査用紙 (一部)

Pergunta4

Sobre pessoa que quer aprender idade ()anos sexo
()
residente no cidade de ()

Pergunta5 Motivo de aprender circule quanto quiser

- 1 para poder aprender na escola Colegial
- 2 para formar Escola Ginásial
- 3 para estudar aprender conhecimento e habilidades da Escola Ginásial
- 4 para aprender Leitura e escrita
- 5 quer experimentar a vida de estudante
- 6 Para Emprego e para melhorar a vida

ベトナム語版アンケート調査用紙（一部）

Về trường bổ túc văn hóa

Đầu tiên, thuyết minh về trường bổ túc văn hóa.

Trường bổ túc văn hóa là nói về cấp học ban đêm của trường trung học công lập nơi mà các buổi học được tiến hành vào khung giờ buổi tối.

Tại trường bổ túc văn hóa, có những người vì nhiều lý do khác nhau mà không hoàn thành nghĩa vụ giáo dục, hoặc không hoàn thành nghĩa vụ giáo dục tại nước mình, hoặc do những lý do nào đó mà hầu như không thể đến trường, tham gia học tập.

Hiện tại, trường bổ túc văn hóa được thành lập tại 9 tỉnh thành trên toàn quốc, nhưng ở tỉnh Okayama chưa có.

Xin vui lòng đọc thuyết minh bên dưới và trả lời bản khảo sát liên quan đến trường bổ túc văn hóa.

1. Trường bổ túc văn hóa cũng là trường công lập giống như trường trung học ban ngày.
 - Mỗi ngày đều có lớp học (ngoại trừ thứ 7, chủ nhật và ngày lễ). Tiền học thì miễn phí.
 - Các môn học cũng giống như của trường trung học ban ngày (quốc ngữ, xã hội, toán học, tự nhiên, âm nhạc, thể dục, vv).
 - Các giáo viên của trường trung học công lập có bằng sư phạm giáo dục tham gia giảng dạy.
 - Nếu mà hoàn thành toàn bộ các môn khóa thì sẽ được xem là tốt nghiệp trung học cơ sở

3. ヒアリング調査用紙

夜間中学に関するヒアリング調査の実施にあたって

【調査の背景】

本調査は、平成 31 年度岡山市市民協働推進モデル事業「「学ぶことは生きること」義務教育学び直しサポート事業」の一環として、一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会・岡山市教育委員会が協働で実施するものです。調査結果は、岡山市などにおける教育施策の検討に利用します。

【調査の目的】

夜間中学での学び直しのニーズをもつ当事者の生きた声から、「どんな人が」「どんな学び直しを求めているか」を明らかにし、「どんな体制が必要か」など今後の岡山市などにおける取組や仕組みづくりを検討するための基礎資料を得ることが、本調査の目的です。

【ヒアリングにあたって】

- ・ヒアリングにより知り得た個人情報、他に漏らしたり、他の目的に利用することはできません。
- ・目的に沿った調査実施のため、聞き手による問いかけの仕方はとても大切です。話し手がご自身の思いを率直にお話できるよう、傾聴を意識していただきたく存じます。
- ・ヒアリング時間は話し手の負担を鑑み、1 人につき 30 分程度を目安としてください。

<方法>

- ・はじめに、調査の背景と目的を説明してください。
次に、伺った内容は岡山市などにおける教育施策の検討にのみ利用し、個人の情報が他に漏れたり、他の目的に利用されることはないこと、録音についてを説明してください。話し手の了解が得られたら、ヒアリングを開始してください。
- ・調査項目に沿って話を伺っていきませんが、話し手の様子を見て、必ずしも項目順に聞く必要はありません。また、話したくない内容を無理に聞き出す必要もありません。
- ・ただし、例えば「平日の 5 日間通えますよね」など、聞き手が話し手の回答を限定や制限するような問い方にならないようご注意ください。

【ヒアリング期間】 2019 年 7 月～9 月末日（予定）

調査主体：一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会（TEL：070-4495-4448）

協働課：岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課

岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課

基本情報	名前		年齢	
	住まい	岡山市_____区 / _____市・町・村 / 岡山県外		
	家族構成			
	健康状態			
	連絡先		紹介者	
経歴	学歴			
	経歴 (仕事等)			
	学齢期の様子			
	卒業後の仕事の有無			
	家庭や社会での経歴			
習得・経験したいこと、その理由	高校入学資格の取得(中学校教育の修了)			
	中学校程度の学力習得(5教科すべて)	英数国理社ほか(家庭科・技術・体育・音楽・道徳等)の勉強など		

読み書き・計算の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な本が読める、文庫本が読める ・平仮名が書ける、日常使う漢字が書ける ・アルファベットが読める・書ける ・和差商積の習得（買い物で計算ができる） ・日本語の習得 など
就労・生活のための能力や資格	<ul style="list-style-type: none"> ・PC操作など ・場面に応じた敬語を使える など
学校生活の経験	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける（集団授業／個別授業など） ・級友と教室で過ごす ・掃除やホームルーム、委員会所属等の学校生活の経験 ・運動会や文化祭などの学校行事の経験 ・美術館、博物館見学などの校外学習の経験 など

	その他	
学び直しのスタイル	回数	平日/土日(何日程度)、時間帯(朝昼夜等)、1回の学び直し時間(何h) など
	通学時間	30分くらい/1時間以内/それ以上でも可能 など (どこでなど、回答者から希望が出てきた際には記載)
その他	<p>全員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間中学に興味や関心を持った理由 (学び直しが必要だと思ったきっかけなどあれば) ・夜間中学を勧めたい人が周りにいるか、その理由は何か ・公民館などの公共施設で学び直しの機会があれば利用したいか など <p>自主夜間中学校 (通学者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の自主夜間中学校に望むことがあるか ・魅力は何か ・公立の夜間中学ができた場合、自主夜間中学校にも通い続けたいか など 	

—平成 31 年度岡山市市民協働推進モデル事業—
「学ぶことは生きること」義務教育学び直しサポート事業
夜間中学に関するニーズ調査 報告書

令和 2 年 1 月 30 日 発行

調査主体： 一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会
協働課： 岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課
岡山市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課